

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 学校農場基盤整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 高校教育課 産業教育係 電話番号：058-272-1111(内8663)

E-mail：c17786@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,227 千円 (前年度予算額：5,072 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,072		0	0	3,122	0	0	0	1,950
要求額	5,227		0	0	3,277	0	0	0	1,950
決定額	5,227		0	0	3,277	0	0	0	1,950

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

農場の基盤を整備することで、生産の効率化を図り、生産性の向上に資するとともに、生徒の実験実習における安全を確保する。

(2) 事業内容

<近年の整備実績>

- ・R元 大垣養老 堆肥置き場改修、浄化槽撤去及び擁壁設置、緊急排水ポンプ付排水路改修
- ・R2 加茂農林 農場排水路整備、排水暗渠の設置、農場道路舗装
- ・R3 郡上 水田圃場改良整備、実習生産物販売所スロープ設置、給水設備改良、温室付近舗装一部撤去工事
- ・R4 恵那農業 農場アスファルト舗装
- ・R5 飛騨高山 農場暗渠排水管の埋設工事、集水桝の設置工事、排水溝敷設工事

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	5,227	農場暗渠排水管、農業用水集水桝、農場側溝、農道舗装等
合計	5,227	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第4次岐阜県教育ビジョン
基本方針2 「未来を創る確かな学力と実践力」の育成
スペシャリストを育成する産業教育の充実

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

安全に実験実習を行うため、学校農場の水路や道路、のり面の未整備箇所や老朽箇所の整備を行う。

また、近年増加している動植物見学や農場生産物購入のための来校者の安全性、快適性を確保するためにも、学校農場等の環境整備を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H29)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
						達成率
整備事業実施校数	0	1	1	1	1	100%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・加茂農林高校の農場において排水路整備工事、排水暗渠設置工事、アスファルト舗装工事を実施し、安全かつ効率よく学習ができる実習環境が実現できた。</p> <p>指標① 目標：<u> 1 </u> 実績：<u> 1 </u> 達成率：<u> 100 </u> %</p>
令和 3 年度	<p>・郡上高校の農場において水田圃場改良整備、実習生産物販売所スロープ設置、給水設備改良、温室付近舗装一部撤去工事を実施し、安全かつ効率よく学習ができる実習環境が実現できた。</p> <p>指標① 目標：<u> 1 </u> 実績：<u> 1 </u> 達成率：<u> 100 </u> %</p>
令和 4 年度	<p>・恵那農業高校の農場において農場アスファルト舗装工事を実施し、安全かつ効率よく学習ができる実習環境が実現できた。</p> <p>指標① 目標：<u> 1 </u> 実績：<u> 1 </u> 達成率：<u> 100 </u> %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	生徒、教職員が安全に実験・実習を行うため。また、施設設備の環境整備を行い近隣地域への安全・衛生面での配慮を確保するため。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	農場の基盤を整備することで、学校農場経営における農産物や資材等運搬の安全性が図られ、実験・実習時における安全が確保されるとともに、近隣地域への安全衛生面の配慮が図られている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	各校の農場の現状を把握し、計画的に実施している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 農業科における実験実習は、知識・技術の定着を図る上で重要であり、その実践の場である学校農場の整備は、計画的に行われる必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 実験実習の安全性を高めるため、また、開かれた学校づくりを一層推進するため、計画的に各校の整備を進める必要がある。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	